

平成25年 決算予算特別委員会 事業評価シート

②

| | |
|------|-------|
| 分科会名 | 総務分科会 |
|------|-------|

| NO. | 予算科目 | 事業名 |
|-----|------|----------------|
| 1 | 一般会計 | アーカスプロジェクト参画事業 |

1 項目別評価

| 評価項目 | 評価基準(該当右欄に○) | 会派別 評価数 |
|-------------------------------|-----------------------|------------|
| (1) 必要性 (市民ニーズ) | ①きわめて必要性が高い(25点) | 1 |
| | ②必要性が高い(20点) | |
| | ③どちらかといえば必要性が高い(15点) | |
| | ④どちらかといえば必要性が低い(10点) | |
| | ⑤必要性が低い(5点) | |
| | ⑥必要性がない(0点) | |
| (2) 公共性 (市が行わなければならないか) | ①きわめて公共性が高い(25点) | 1 |
| | ②公共性が高い(20点) | |
| | ③どちらかといえば公共性が高い(15点) | |
| | ④どちらかといえば公共性が低い(10点) | |
| | ⑤公共性が低い(5点) | |
| | ⑥公共性がない(0点) | |
| (3) 費用対効果 (コストに見合った成果があるか) | ①きわめて効果的である(25点) | 1 |
| | ②効果的である(20点) | |
| | ③どちらかといえば効果的である(15点) | |
| | ④どちらかといえば非効果的である(10点) | |
| | ⑤効果が少ない(5点) | |
| | ⑥効果がない(0点) | |
| (4) 成果 (目標の達成状況) | ①きわめて成果がある(25点) | 1 |
| | ②成果がある(20点) | |
| | ③どちらかといえば成果がある(15点) | |
| | ④どちらかといえば成果がない(10点) | |
| | ⑤成果が少ない(5点) | |
| | ⑥成果がない(0点) | |

※評価点は人数を考慮して更に議論、集約したもの

2 分科会項目別評価

| 評価点 | 評価コメント(100字以内) |
|------|--|
| ○ 10 | 現代アートは一般的に理解しにくく、作品を残すことが難しい為、認知度が低い。制作過程を見たり参加したりできるが、市民の関心がやすい。参加者は特定少数であり、現状はニーズが低い。 |
| ○ 20 | 20年にわたり27ヶ国と地域から85名の若手芸術家を迎え、「もりや学びの里」を拠点とする活動は、教育、文化、国際性、など多面的だ。県と市のバックアップで運営可能。民間ではできない。 |
| ○ 10 | 全体で2450万円の事業の内訳は、文化庁、茨城県から各500万円、ポーラ財団等17企業の協賛金と、守谷市の負担金500万円である。その割に、実感として市民を触発する発信力不足。 |
| ○ 15 | 国内外アーティストと協働で行うプログラムが多数あり、市の若手芸術家が育っている。アーティストインスクールは小中学校で大変好評である。 |

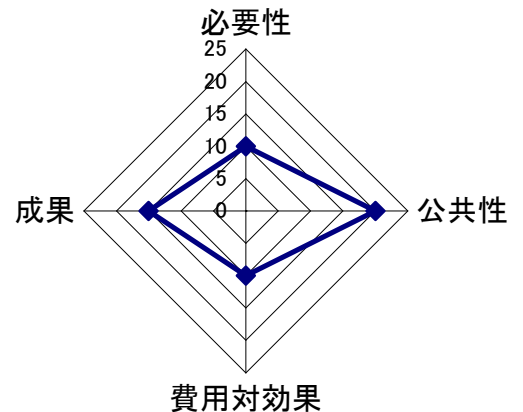
※会派別評価数は、会派会(事前)評価による数をそのまま転記したもの

分科会評価

3 分科会評価

| 評価 | 分科会の評価理由(300字以内) |
|---|--|
| 1 1 全会一致 2 大勢一致 ※少数意見も明記 3 要検討 ※面談併記 | 現代アートは一般的に分かりにくく、参加者は、若手芸術家志望や学生の他は特定少数であり、市民全体からのニーズや認知度は低いのが現状である。しかし、20年にわたり27ヶ国と地域から85名の若手芸術家を迎え、もりや学びの里を拠点とした芸術活動を支えるこの事業は、文化庁や県、守谷市はもとより、多くの企業からの協賛に支えられている事業であり、公共性は高いので、もっと市が積極的にかかわり情報を発信し、市民の理解を得るべきだ。現代アートの制作過程を見たり、参加できることから若手芸術家が育っている。アーティストインスクールは小中学校で大変好評である。 |
| 全会一致 | |

分科会レーダーチャート



分科会提案

4 今後この事業に対する提案

| 提案 | 理由(政策・施策的見地、予算に関する実情等も含む)500字以内 |
|---|---|
| 3 5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善し継続する 2 見直しの上縮小する 1 休止・廃止する | 文化庁と茨城県から各500万円と民間企業からの協賛を受けている事業だが、市税を500万円使っている以上、県との役割分担を明確化し、市の役割をしっかりと果たしながら、今後の展望を明確にして、現代アートを活用した魅力あるまちづくりに積極的に取り組んでほしい。まず、アートと地域をつなぐ交流プログラムの更なる充実拡大や市のイベント参加で、多くの市民をまきこむ工夫をする。小中学校での子ども達との交流や出前講座を増やす。守谷の文化活動グループとの交流を図る。アーティストがいるときだけでなく、通年でアーカスの活動が見られるようにする。等々、改善し発展させてほしい。また、取手、牛久、水戸などの近隣や全国の様々なアーティスト・イン・レジデンスとの連携で、町おこしの参考にすることも考えられる。文化庁や県の予算はいつごろまで続くのか、更に他の企業にも協賛を依頼するのか、なども今後考慮していかなければならない。 |
| 改善し継続する | |

平成25年 決算予算特別委員会 事業評価シート

②

| | |
|------|-------|
| 分科会名 | 総務分科会 |
|------|-------|

| | | |
|-----|------|----------------------|
| NO. | 予算科目 | 事業名 |
| 2 | 一般会計 | 市内循環バス(コミュニティバス)運行事業 |

1 項目別評価

| 評価項目 | 評価基準(該当右欄に○) | 会派別 評価数 |
|------------------------------|-----------------------|------------|
| (1)必要性 (市民ニーズ) | ①きわめて必要性が高い(25点) | 2 |
| | ②必要性が高い(20点) | |
| | ③どちらかといえば必要性が高い(15点) | |
| | ④どちらかといえば必要性が低い(10点) | |
| | ⑤必要性が低い(5点) | |
| | ⑥必要性がない(0点) | |
| (2)公共性 (市が行わなければならないか) | ①きわめて公共性が高い(25点) | 4 |
| | ②公共性が高い(20点) | |
| | ③どちらかといえば公共性が高い(15点) | |
| | ④どちらかといえば公共性が低い(10点) | |
| | ⑤公共性が低い(5点) | |
| | ⑥公共性がない(0点) | |
| (3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか) | ①きわめて効果的である(25点) | 1 |
| | ②効果的である(20点) | |
| | ③どちらかといえば効果的である(15点) | |
| | ④どちらかといえば非効果的である(10点) | |
| | ⑤効果が少ない(5点) | |
| | ⑥効果がない(0点) | |
| (4)成果 (目標の達成状況) | ①きわめて成果がある(25点) | 3 |
| | ②成果がある(20点) | |
| | ③どちらかといえば成果がある(15点) | |
| | ④どちらかといえば成果がない(10点) | |
| | ⑤成果が少ない(5点) | |
| | ⑥成果がない(0点) | |

※評価点は人数を考慮して更に議論、集約したもの

2 分科会項目別評価

| 評価点 | 評価コメント(100字以内) |
|------|---|
| ○ 15 | 関鉄バスの廃止路線や空白地域において、交通弱者にはニーズがある。しかし、日中の利用者が少なく空席が多くみられる。市民全体を対象としているが、利用者は限定的である。 |
| ○ 20 | 赤字路線は民間ではできないため、市が運行せざるを得ない。市内全域に公共交通を確保するといっても、どれくらいの予算をとるかが問題である。 |
| ○ 5 | 9000万円近くの運行費用は、市民一人当たり約1400円の負担である。利用者が限られている以上、より効果的な運行サービスを模索すべきである。 |
| ○ 15 | 交通弱者や通勤・通学者にも利用されている。毎日利用する人には、無くてはならない交通手段である。年間利用者は22年からのべ数で8.3万人、10.9万人、12.2万人と増加している。 |

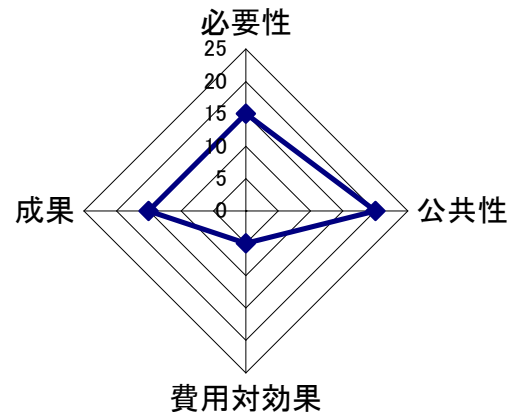
※会派別評価数は、会派会(事前)評価による数をそのまま転記したもの

分科会評価

3 分科会評価

| 評価 | 分科会の評価理由(300字以内) |
|---|---|
| 1 1 全会一致 2 大勢一致 ※少数意見も明記 3 要検討 ※面談併記 | 交通弱者にとって、どちらかといえば必要性が高い。毎日通勤、通学に利用している市民にとっては、無くてはならない事業である。24年度に行ったアンケート調査でも80%が必要と回答している。しかしその中で、利用しているのは30%の人であった。公共性が高いが、利用者の少ない赤字路線の運行は民間で出来ないため、市が運行せざるを得ないが、そこにどれくらいの予算をとるかである。9000万円近くの運行費用は市民一人当たり年間1400円の負担である。フリー降車制度や新規ルートの開通など利便性を高める努力は見られるが、予算を健全化しようという改善の方向性が見えない。 |
| 全会一致 | |

分科会レーダーチャート



分科会提案

4 今後この事業に対する提案

| 提案 | 理由(政策・施策的見地、予算に関する実情等も含む)500字以内 |
|---|---|
| 2 5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善し継続する 2 見直しの上縮小する 1 休止・廃止する | このままでは、無駄に空気を運んでいる、という批判をかわすことも、9000万円の事業費の削減も望めない。利用者のニーズに沿った、複数の交通手段をとりいれる等の改革を行う。例えば、通勤、通学の時間帯は、駅への上り便数を増やし、下りをノンストップでもどす。利用者の少ない日中の時間帯は、便数を見直し、デマンド等の代替手段を模索するなど、大掛かりな改革をおこなう。高齢者や障がい者のための通院や買い物などの移動手段としては、現在、別事業で実施されている福祉タクシーを見直し、乗合タクシー(デマンドタクシー)として、公共交通を補完できるものとする。無駄に走行距離を伸ばすことなく、行きたいときに、目的地に直接行ける、便利な公共交通になると思われる。料金は、デマンドなら、個人負担が多少上げること考慮し、全体の経費削減を実現する。ルートによってはNPOに委託することも可能である。先進地の事例を更に研究し、守谷にふさわしい公共交通を模索すべきである。 |
| 見直しの上縮小する | |

平成25年 決算予算特別委員会 事業評価シート

②

| | |
|------|---------|
| 分科会名 | 都市経済分科会 |
|------|---------|

| | | |
|-----|------|-----------|
| NO. | 予算科目 | 事業名 |
| 3 | 一般会計 | 放置自転車対策事業 |

1 項目別評価

| 評価項目 | 評価基準(該当右欄に○) | 会派別 評価数 |
|-------------------------------|-----------------------|------------|
| (1) 必要性 (市民ニーズ) | ①きわめて必要性が高い(25点) | 4 |
| | ②必要性が高い(20点) | |
| | ③どちらかといえば必要性が高い(15点) | |
| | ④どちらかといえば必要性が低い(10点) | |
| | ⑤必要性が低い(5点) | |
| | ⑥必要性がない(0点) | |
| (2) 公共性 (市が行わなければならないか) | ①きわめて公共性が高い(25点) | 3 |
| | ②公共性が高い(20点) | |
| | ③どちらかといえば公共性が高い(15点) | |
| | ④どちらかといえば公共性が低い(10点) | |
| | ⑤公共性が低い(5点) | |
| | ⑥公共性がない(0点) | |
| (3) 費用対効果 (コストに見合った成果があるか) | ①きわめて効果的である(25点) | 2 |
| | ②効果的である(20点) | |
| | ③どちらかといえば効果的である(15点) | |
| | ④どちらかといえば非効果的である(10点) | |
| | ⑤効果が少ない(5点) | |
| | ⑥効果がない(0点) | |
| (4) 成果 (目標の達成状況) | ①きわめて成果がある(25点) | 1 |
| | ②成果がある(20点) | |
| | ③どちらかといえば成果がある(15点) | |
| | ④どちらかといえば成果がない(10点) | |
| | ⑤成果が少ない(5点) | |
| | ⑥成果がない(0点) | |

※評価点は人数を考慮して更に議論、集約したもの

2 分科会項目別評価

| 評価点 | 評価コメント(100字以内) |
|---------|--|
| ○ 20 | 歩行者の安全、駅前の景観上必要性が高く、駐輪場を利用している人との公平性の観点からも必要である。 |
| ○ 20 | 公共性が高く、啓発活動は必要である。市が行うのが妥当である。 |
| ○ 20 | コスト的には効果をあげている。 |
| ○ 20 | 事業の時間内での効果はあがっている。時間以外また土日等について課題がある。 |

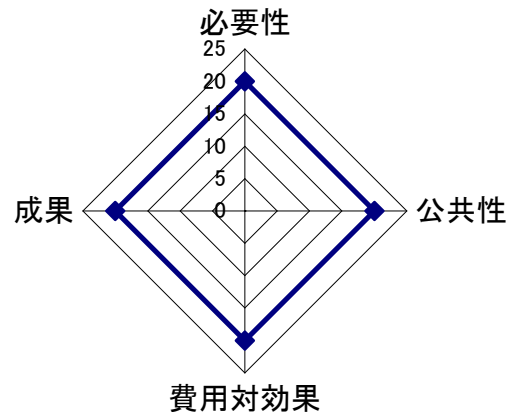
※会派別評価数は、会派会(事前)評価による数そのまま転記したもの

分科会評価

3 分科会評価

| 評価 | 分科会の評価理由(300字以内) |
|---|---|
| 1 1 全会一致 2 大勢一致 ※少数意見も明記 3 要検討 ※面論併記 | 必要性、公共性が高く、事業予算としての効果が上がっているが、目に付くような看板の設置など工夫の余地がある。 |
| 全会一致 | |

分科会レーダーチャート



分科会提案

4 今後この事業に対する提案

| 提案 | 理由(政策・施策的見地、予算に関する実情等も含む)500字以内 |
|---|---|
| 3 5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善し継続する 2 見直しの上縮小する 1 休止・廃止する | 駐輪台数を確保するため、新たな駐輪場の増設を検討する。また、時間帯の見直しや人員の配置等を含め、より効果的な方策を考える。一時保管場所を変更し、撤去も定期的かつ継続的にきちんとやる。市民の意識改革のためにも、条例をいかすべきである。防犯カメラの設置をすることも検討する。そのためには、予算の検討も必要。 |
| 改善し継続する | |

平成25年 決算予算特別委員会 事業評価シート

②

| | |
|------|---------|
| 分科会名 | 都市経済分科会 |
|------|---------|

| | | |
|-----|------|--------|
| NO. | 予算科目 | 事業名 |
| 4 | 一般会計 | 防犯対策事業 |

1 項目別評価

| 評価項目 | 評価基準(該当右欄に○) | 会派別 評価数 |
|-------------------------------|-----------------------|------------|
| (1) 必要性 (市民ニーズ) | ①きわめて必要性が高い(25点) | 1 |
| | ②必要性が高い(20点) | 3 |
| | ③どちらかといえば必要性が高い(15点) | 1 |
| | ④どちらかといえば必要性が低い(10点) | |
| | ⑤必要性が低い(5点) | |
| | ⑥必要性がない(0点) | |
| (2) 公共性 (市が行わなければならないか) | ①きわめて公共性が高い(25点) | |
| | ②公共性が高い(20点) | 5 |
| | ③どちらかといえば公共性が高い(15点) | |
| | ④どちらかといえば公共性が低い(10点) | |
| | ⑤公共性が低い(5点) | |
| | ⑥公共性がない(0点) | |
| (3) 費用対効果 (コストに見合った成果があるか) | ①きわめて効果的である(25点) | 1 |
| | ②効果的である(20点) | 3 |
| | ③どちらかといえば効果的である(15点) | 1 |
| | ④どちらかといえば非効果的である(10点) | |
| | ⑤効果が少ない(5点) | |
| | ⑥効果がない(0点) | |
| (4) 成果 (目標の達成状況) | ①きわめて成果がある(25点) | 1 |
| | ②成果がある(20点) | 3 |
| | ③どちらかといえば成果がある(15点) | 1 |
| | ④どちらかといえば成果がない(10点) | |
| | ⑤成果が少ない(5点) | |
| | ⑥成果がない(0点) | |

※評価点は人数を考慮して更に議論、集約したもの

2 分科会項目別評価

| 評価点 | 評価コメント(100字以内) |
|-----|--|
| 20 | 防犯意識を高め、犯罪の抑止力として必要性が高い。 |
| 20 | 市民が安全に安心して暮らすために公共性が高い。市が積極的に取り組み、市民の防犯意識を高め、犯罪のないまちづくりを目指す。 |
| 20 | 犯罪件数の減少が見られ、ボランティア、防犯指導員の活動が犯罪の抑止力になっている。効果がある。 |
| 20 | ボランティアが組織化され、警察との連携が図られている。パトロール参加人数は増加している。 |

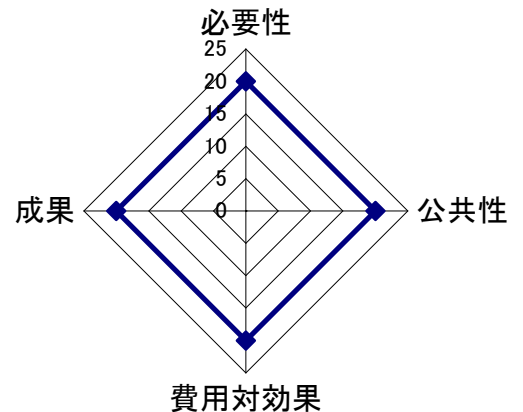
※会派別評価数は、会派会(事前)評価による数そのまま転記したもの

分科会評価

3 分科会評価

| 評価 | 分科会の評価理由(300字以内) |
|---|---|
| 1 1 全会一致 2 大勢一致 ※少数意見も明記 3 要検討 ※面論併記 | 必要性、公共性ともに高く、少ない費用で効果をあげている。ボランティアの活動が大きい。市民全体の防犯意識の向上につながるよう啓発活動の継続する。 |
| 全会一致 | |

分科会レーダーチャート



分科会提案

4 今後この事業に対する提案

| 提案 | 理由(政策・施策的見地、予算に関する実情等も含む)500字以内 |
|---|--|
| 3 5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善し継続する 2 見直しの上縮小する 1 休止・廃止する | 将来の生活不安などから、高齢者の万引き犯罪が増えつつある。パトロールだけではカバーしきれないことがあり、心のケアが必要である。また、振り込め詐欺等の被害に遭わないように啓発が大事。行政とボランティアおよび関係機関との情報の共有、コミュニケーションが大事である。犯罪を起こさせない攻めの防犯活動で抑止力を高めるとともに、子ども(小学生)に防犯教育をする。防犯指導員の増員を検討する。 |
| 改善し継続する | |

平成25年 決算予算特別委員会 事業評価シート

②

| | |
|------|---------|
| 分科会名 | 文教福祉分科会 |
|------|---------|

| NO. | 予算科目 | 事業名 |
|-----|------|------------|
| 5 | 一般会計 | 夕べのコンサート事業 |

1 項目別評価

| 評価項目 | 評価基準(該当右欄に○) | 会派別 評価数 |
|-------------------------------|-----------------------|------------|
| (1) 必要性 (市民ニーズ) | ①きわめて必要性が高い(25点) | |
| | ②必要性が高い(20点) | 1 |
| | ③どちらかといえば必要性が高い(15点) | 2 |
| | ④どちらかといえば必要性が低い(10点) | 2 |
| | ⑤必要性が低い(5点) | |
| | ⑥必要性がない(0点) | |
| (2) 公共性 (市が行わなければならないか) | ①きわめて公共性が高い(25点) | |
| | ②公共性が高い(20点) | 1 |
| | ③どちらかといえば公共性が高い(15点) | 1 |
| | ④どちらかといえば公共性が低い(10点) | 3 |
| | ⑤公共性が低い(5点) | |
| | ⑥公共性がない(0点) | |
| (3) 費用対効果 (コストに見合った成果があるか) | ①きわめて効果的である(25点) | |
| | ②効果的である(20点) | |
| | ③どちらかといえば効果的である(15点) | |
| | ④どちらかといえば非効果的である(10点) | 4 |
| | ⑤効果が少ない(5点) | 1 |
| | ⑥効果がない(0点) | |
| (4) 成果 (目標の達成状況) | ①きわめて成果がある(25点) | |
| | ②成果がある(20点) | |
| | ③どちらかといえば成果がある(15点) | 3 |
| | ④どちらかといえば成果がない(10点) | 2 |
| | ⑤成果が少ない(5点) | |
| | ⑥成果がない(0点) | |

※評価点は人数を考慮して更に議論、集約したもの

2 分科会項目別評価

| 評価点 | 評価コメント(100字以内) |
|------|---|
| ○ 15 | 夏のコンサートとして市民に定着しており、市民の癒しの空間や発表の場として必要性を感じる。 |
| ○ 15 | 市民の文化事業の一つと捉え、必要性を感じるが、必ず市が行うものでもない。 |
| ○ 10 | 総経費のうち、職員人件費の割合が7割程度有りボランティアなどで対応できないか。また、経費の割には集客数が少なくなってきた。 |
| ○ 15 | 真夏の文化的恒例行事となっている点では評価したい。近年、観客数の減少が見られ、新しい工夫が必要と思われる。 |

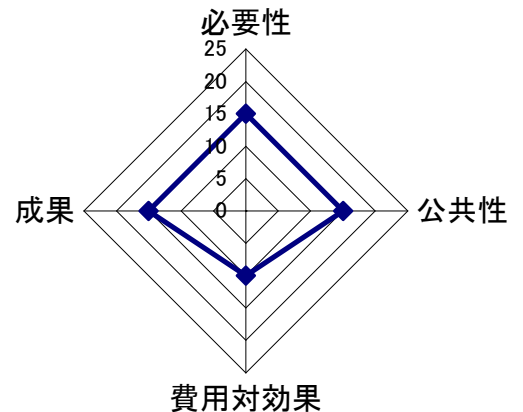
※会派別評価数は、会派会(事前)評価による数をそのまま転記したもの

分科会評価

3 分科会評価

| 評価 | 分科会の評価理由(300字以内) |
|---|--|
| 1 1 全会一致 2 大勢一致 ※少数意見も明記 3 要検討 ※面談併記 | 真夏の恒例行事として市民に認知されつつあるが、18年も経過しマンネリ化しているように思われる。予算の使い方、運営の仕方、内容等新しい工夫が必要であると思われる。 |
| 全会一致 | |

分科会レーダーチャート



分科会提案

4 今後この事業に対する提案

| 提案 | 理由(政策・施策的見地、予算に関する実情等も含む)500字以内 |
|---|---|
| 3 5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善し継続する 2 見直しの上縮小する 1 休止・廃止する | マンネリ化を打破するため、現役員の中に若い新しい人材をいれて企画。実行委員会は、参加グループを若返らせる事によって若い人の発想を取り入れる。役員関係は、年を重ねた人と若い人のバランスを考える。出演者数、集客数の目標を毎年掲げどのように達成するか検討し進める。 |
| 改善し継続 | |

平成25年 決算予算特別委員会 事業評価シート

②

| | |
|------|---------|
| 分科会名 | 文教福祉分科会 |
|------|---------|

| | | |
|-----|------|----------------|
| NO. | 予算科目 | 事業名 |
| 6 | 一般会計 | 給食センター生ごみ堆肥化事業 |

1 項目別評価

| 評価項目 | 評価基準(該当右欄に○) | 会派別 評価数 |
|-------------------------------|-----------------------|------------|
| (1) 必要性 (市民ニーズ) | ①きわめて必要性が高い(25点) | |
| | ②必要性が高い(20点) | |
| | ③どちらかといえば必要性が高い(15点) | 1 |
| | ④どちらかといえば必要性が低い(10点) | 2 |
| | ⑤必要性が低い(5点) | 2 |
| | ⑥必要性がない(0点) | |
| (2) 公共性 (市が行わなければならないか) | ①きわめて公共性が高い(25点) | |
| | ②公共性が高い(20点) | |
| | ③どちらかといえば公共性が高い(15点) | 1 |
| | ④どちらかといえば公共性が低い(10点) | 3 |
| | ⑤公共性が低い(5点) | 1 |
| | ⑥公共性がない(0点) | |
| (3) 費用対効果 (コストに見合った成果があるか) | ①きわめて効果的である(25点) | |
| | ②効果的である(20点) | |
| | ③どちらかといえば効果的である(15点) | 2 |
| | ④どちらかといえば非効果的である(10点) | 1 |
| | ⑤効果が少ない(5点) | 2 |
| | ⑥効果がない(0点) | |
| (4) 成果 (目標の達成状況) | ①きわめて成果がある(25点) | |
| | ②成果がある(20点) | |
| | ③どちらかといえば成果がある(15点) | 1 |
| | ④どちらかといえば成果がない(10点) | 4 |
| | ⑤成果が少ない(5点) | |
| | ⑥成果がない(0点) | |

※評価点は人数を考慮して更に議論、集約したもの

2 分科会項目別評価

| 評価点 | 評価コメント(100字以内) |
|------|--|
| ○ 10 | 常総環境センターでも同じ事業をしているので、必要性が低い。 |
| ○ 10 | 学校給食という、公共性のきわめて高い現場ではあるが、常総環境センターでも同じ事業をしているので、必要性が低い。 |
| ○ 10 | 常総環境センターでも同じ事業をしているので、非効果的である。 |
| ○ 10 | 現時点では、常総環境センターでも同じ事業をしているので、成果がない。生ごみ堆肥化と有効利用の観点からは成果があった。 |

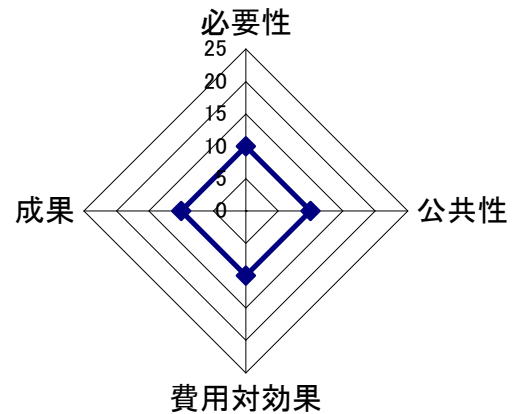
※会派別評価数は、会派会(事前)評価による数をそのまま転記したもの

分科会評価

3 分科会評価

| 評価 | 分科会の評価理由(300字以内) |
|---|--|
| 1 1 全会一致 2 大勢一致 ※少数意見も明記 3 要検討 ※面談併記 | 給食センター生ごみ堆肥化事業発足の平成12年度当時は、Co2対策やリサイクル事業として成果があったが、現時点で常総環境センターでの生ごみ堆肥化事業が行われている状況からは、そちらに一本化するべき。 |
| 全会一致 | |

分科会レーダーチャート



分科会提案

4 今後この事業に対する提案

| 提案 | 理由(政策・施策的見地、予算に関する実情等も含む)500字以内 |
|---|---|
| 1 5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善し継続する 2 見直しの上縮小する 1 休止・廃止する | 出来るだけ早い時期に、常総環境センターに移行すべき。移行するためにどのような問題があるか調査し、現段階で問題解決の方策を作成し、計画的に移行する。 |
| 休止・廃止する | |